

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：当院における分娩予定日超過誘発の成功を左右する因子に関する検討

1. 研究の目的

予定日を超えた妊婦さんでは分娩誘発を行うことがあります。どんな人に分娩誘発を行えばよりうまくいくのか、ということについての日本のデータはほぼありません。本研究ではそうした分娩誘発が成功する（経膣分娩可能、分娩時の合併症が少ないなど）ための因子について検討を行います。身長体重などの情報や診察所見などの記録から情報を抽出し、分娩結果との相関について統計解析を行います。本研究の結果から、より適切な分娩誘発のタイミングや方法を検討する予定です。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて倫理委員会承認後～2020年6月までに分娩予定日超過を適応に分娩誘発を行った妊婦さん
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月
- ③ 研究方法：分娩予定日超過を適応に分娩誘発を行う妊婦さんを対象として、身長体重などの生体情報及び内診所見を前向きに記録、データベース化し、分娩様式、周産期合併症との相関を統計的に解析します。妊婦さんの身長・体重などの生体情報や赤ちゃんの情報についてはカルテ情報を、頸管熟化などの診察所見は通常診療において産科医によって計測されたものを利用します。当院における通常診療を記録する研究ですので、対象となる妊婦の皆様には新たな負担はありません。個人情報については個人が特定されないよう、厳重に管理いたします。

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、身長体重、胎児推定体重、分娩様式や分娩時合併症などの分娩結果 等

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので2020年9月30日までに、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 産科 前田裕斗

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7066）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 産科 前田裕斗